

障がい者 福祉情報

156号 2020年11月

編集・発行

社会福祉法人 福岡県社会福祉協議会

〒816-0804 春日市原町3丁目1番地7

クローバープラザ

TEL 092-584-3330 FAX 092-584-3319

<http://www.fuku-shakyo.jp/kouhou/kouhou.html>

コロナ禍における就労支援事業所の状況について

今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、私たちの暮らしも、様々なところで大きな影響を受けています。4月・5月の緊急事態宣言を受け、「withコロナ」という言葉が定着し、新型コロナウイルス感染症に対応した生活にも慣れてきたように感じます。そのような状況下において、少しずつ浮かび上がってきた新たな課題も出てきています。今号では、就労継続支援事業所に視点を置いて、現状や課題、新たに取り組まなければならないことを取り上げていきます。

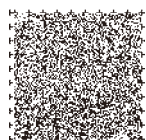
厚生労働省は令和2年8月28日、社会保障審議会障害者部会において、直近の就労継続支援事業における生産活動の状況を次のように報告しました。

○新型コロナウイルス感染症への対応が求められる中で、就労継続支援A型・B型事業所における生産活動の状況は、①生産活動収入は、A型・B型ともに5月が最も落ち込んでおり、直近7月においても約6割が減収。②賃金・工賃は、前年同月と比較し、A型では5月を除き前年以上、B型では9割以上の水準の支払いで推移。③今後の見通しとしては、A型では約5割、B型では約6割の事業所が「全く見通しが立たないまま」と回答。詳細な図表については2ページに掲載していますが、調査結果から就労継続支援事業所の厳しい実態を伺うことができます。

- 就労継続支援A型事業所…一般企業等での就労に困難を抱える障がいのある方に対して、雇用契約に基づく就労の機会の提供、知識および能力の向上のための訓練等を行う。
- 就労継続支援B型事業所…一般企業等での就労に困難を抱える就労経験のある障がいのある方に対し、生産活動等の機会の提供、知識および能力の向上のための訓練等を行う。

もくじ / 通巻156号

- ・ コロナ禍における就労支援事業所の状況について 1～4
- ・ 「2020ふくおか県障がい児者美術展」の受賞者が決定 5
- ・ 障害者週間の啓発 6
- ・ お知らせ 7～8

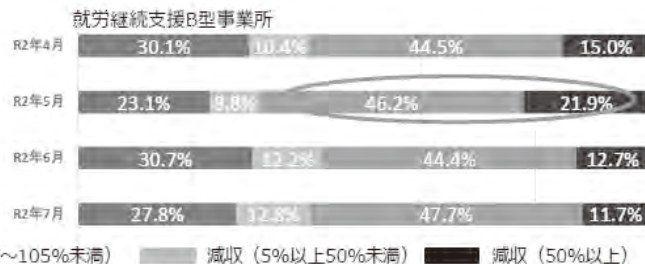
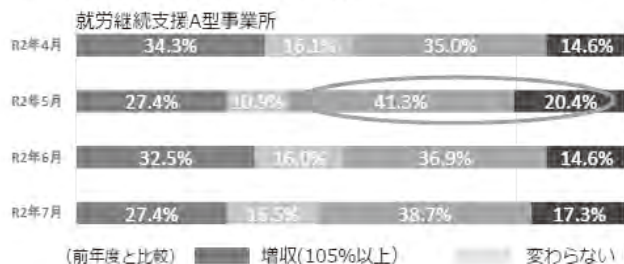


直近の就労継続支援事業所における生産活動の状況

1 ページからの続き（厚生労働省資料）

注）調査結果は調査期間終了時点（8月24日（月）17:00）の速報値であり現在調査中

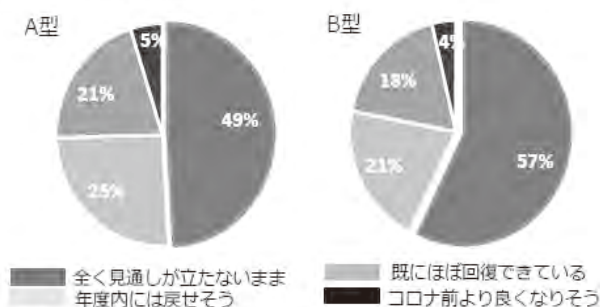
① 生産活動収入の状況（前年度同月比較）



② 平均月額賃金・工賃の状況（前年同月比較）

		R1年度	R2年度	増減割合（月）
A型 H30 平均賃金 76,887円	4月	78,520	81,054	103.2%
	5月	80,482	78,701	97.8%
	6月	79,302	84,274	106.3%
	7月	83,748	85,240	101.8%
B型 H30 平均工賃 16,118円	4月	15,407	14,199	92.2%
	5月	14,906	13,508	90.6%
	6月	15,785	14,965	94.8%
	7月	16,585	15,515	93.6%

③ 今後の見通し（R2年8月現在）



【令和2年度障害者総合福祉推進事業】「就労系障害福祉サービスにおける就労支援事業会計の管理の実態と会計処理における課題に関する調査研究」における緊急調査（株式会社インサイト）
調査期間：令和2年8月7日～24日 回答数：就労継続支援A型760事業所 就労継続支援B型3,614事業所 調査方法：WEB調査

福岡県における新型コロナウイルス感染症にかかる緊急アンケート調査について

福岡県においても、就労継続支援事業所向けに緊急アンケート調査を実施しています。

○調査対象…451事業所

（A型132事業所・B型319事業所）※政令市・中核市を除く

○回答数…243事業所

（A型69事業所・B型174事業所）

○対象期間…令和2年2月～4月

○調査期間…令和2年5月11日～

20日

○回答率 54・1%

アンケート調査で、新型コロナウイルス感染症の影響で、売上高が減少と回答した事業所は、A型事業所で53事業所・B型事業所で122事業所から回答があり、併

せて175事業所、回答があった全体の7割以上の事業所が売上が減少したと回答しています。

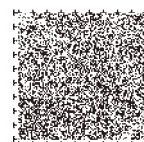
次に売上が減少した主な理由として、

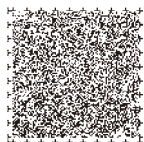
- ・受注先からの依頼や業務量が減少（63%）
- ・販売機会の減少や一般客の来店が減少（22%）
- ・就労する障がいのある方が出勤できない（6%）
- ・生産活動を自粛（5%）

を主な理由として挙げています。

調査期間が緊急事態宣言中と重なっている影響もありますが、多くの企業や学校、また個人が活動を自粛していたこともあり、受注先からの依頼減少、それに伴う業務量の減少の影響が大きかったことがわかります。

新型コロナウイルスの影響により、今年度の支援策として求めるもの（3つまで選択可）として、
・補償等の手当（28%）





合同会社オリーブ・ハーツの
小林さん

福岡市内のショッピングモールで開催されていた、セルプ製品の販売会場でお話を伺いました。対応していただいたのは、合同会社オリーブ・ハーツ（就労継続支援A型事業所タイム）の小林さんです。

就労継続支援A型事業所の生の声

・官公庁からの発注の拡大(22%)
・新事業など生産活動の転換等に関する支援(13%)
・共同受注の拡大(9%)
・販売会等の販売機会の提供(7%)
を望む声が、アンケート調査から伺えます。

●事業所概要

福岡市南区にある就労継続支援A型事業所タイムは、10代から60代までの幅広い年齢層の方、20名が通っています。週5日勤務の①9時50分～15時②11時～16時の勤務体制で行っています。約7割が女性で、雑貨類（アクセサリー・縫製品・クラフト・スプーン等）を中心に作製、販売しています。その他に、民泊での清掃事業やイベント用チラシの封入作業等も行っています。



ショッピングモールでのセルプ製品の販売会の様子

●今年の状況について

緊急事態宣言中の約2か月間は、利用者については、在宅勤務としていました。事業所は開いていましたが、職員は時差出勤でした。モノづくりが主であるため、利用者宅に材料を運び、作製してもらい、週1回程度、状況確認も併せて訪問する形で対応していました。清掃担当の利用者については、減少傾向ながらも、清掃依頼があったため、従来通り事業所に通ってもらっていました。

利用者の中には、在宅生活が続いた事で症状が悪化し、緊急事態宣言解除後、事業所に通うことができなくなり、2名が辞めてしまいました。通常時であれば、家の外で活動することで症状も安定し、仕事ができていた方ですが、一時的とはいえ、ずっと家にいる事で、今まで頑張っていたことができなくなってしまうことが原因と思われます。

新型コロナウイルスの影響で、福岡県内のイベントが中止となり、販売する機会が減ったこと

や、これまで、中国・韓国の方が8割を占めていた民泊も激減したこと、清掃の仕事が減ったり、イベント時に配布するチラシの封入作業もなくなってしまうなど、昨年と比較すると大幅な減収となっています。

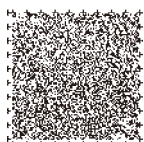
今は少しずつ販売会の機会も増えてきており、可能な限り出向いています。

また、そのような状況下でも、賃金は下げないようにしています。利用者の中でも、高い技術のある方や、労力を使う仕事を担っている方には、賃金を上乗せする対応を行っています。経営は厳しい状況ですが、利用者の不利にならないように、守らないといけない部分だと思っています。

●これから取組みたいことは

新型コロナウイルスの影響もあって、マスクや、マスクケースを作製・販売しています。

一時期に比べ、マスクの供給は落ち着





いていますが、それでも購入されていく方が多いため、売り切れることもあります。

利用者の中には、一つのモノを作製するのに、一月要したり、良い素材を使うことで、材料費もかかり、価格も上げないといけないというケースもあります。

支援者として、売れるモノを考えて作る、それが賃金アップにも繋がっていくと捉える一方、利用者の意欲を削がないという気持ちも考慮しながら、モノづくりをやっていかねばならないと感じています。

今後の予定は、食品製造メーカーと協働しながら、新商品の開発・販売を行っていきたいと考えています。

今号では、就労継続支援事業所の状況について取り上げましたが、社会全体が新型コロナウイルスの影響により、経済や生活に大打撃を受けました。就労継続支援事業所も例外ではなくその影響を

受けていることが分かります。

他にも、視覚障がいのある方は、「針・灸・あんま」の仕事は生活の糧としている方が多く、仕事柄、接触を避けることができない。入所施設等への訪問マッサージを断られる等で仕事が激減した。公共交通機関での移動が必須であるにも関わらず、助けが必要な時でも、接触を避けられ、手を差し伸べてくれる人が少なくなつた」など、仕事をする上でも、生活をする上でも、様々な弊害があると報告を受けています。

新型コロナウイルスへの対策や方法が検証されてきており、少しずつ普段の暮らしに近づけるよう、社会も私達自身も、できることから始めていかなければならないと感じます。



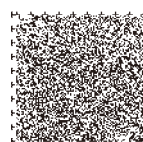
就労継続支援A型事業所タイムで作製した雑貨類。アクセサリやマスクケース、疫病退散！アマビエの絵が入ったスプーンなどを販売。

『共同受注推進協議会』を設置しました

福岡県では、今年度から、県社会福祉協議会、障がい者施設の団体、JA福岡中央会、県商工会議所連合会、県商工会連合会等が参画する共同受注推進協議会を新たに設置しました。

協議会では、障がいのある方の工賃向上を目指し、障がい者施設が行政、企業、農業者等からの受注を拡大するため、好事例の紹介や受発注情報の共有、オンライン取引の拡大に向けた方策の検討などに取り組みます。

企業、農業者等への営業に活用できるチラシや動画コンテンツも製作する予定です。協議会の取り組みへの御協力をお願いします。



『2020ふくおか 県障がい児者美術 展』の受賞者が決定

福岡県では、障がいのある方の

さらなる制作意欲の向上を促進し、県民に対して、障がいのある方が持っている多様な能力・才能に触れる機会を提供することを目的に、「2020ふくおか県障がい児者美術展」を開催しています。応募作品の中から厳正な審査の結果、入賞作品及び佳作作品が以下のとおり決定しました。

1 応募資格

福岡県在住または福岡県に通勤・通学（所）している障がい児者の方

2 応募区分

一般の部、小・中学生の部

3 部門

絵画、書道、写真

4 応募数

760点

（絵画534点、書道

165点、写真61点）

5 入賞

15点

（一般の部）

【絵画】

福岡県知事賞 志門 萌

福岡県議会議長賞 田中 睦師

【書道】

福岡県知事賞 佐野 優馬

福岡県議会議長賞 芳野 貴宏

【写真】

福岡県知事賞 赤尾 春香

福岡県議会議長賞 江頭 大志

（小・中学生の部）

【絵画】

福岡県知事賞 浅野 麻奈人

福岡県議会議長賞 山村 壮真

福岡県教育委員会賞 志波 希乃花

福岡県教育委員会賞 山下 彩羽

【書道】

福岡県知事賞 奥本 駿

福岡県議会議長賞 坂元 心音

福岡県教育委員会賞 立川 優翔

【写真】

福岡県知事賞 桃谷 春花

福岡県議会議長賞

Crane Humanoid

※佳作 85点

6 作品展示

【田川市美術館】

日時.. 11月10日～15日

住所.. 田川市新町11-56

TEL 0947-4216161

【福岡県庁】

日時.. 11月17日～26日

住所.. 福岡市博多区東公園7-7

TEL 092-64313383

【九州芸文館】

日時.. 12月1日～6日

住所.. 筑後市大字津島1131

TEL 0942-5216435

【北九州市立美術館黒崎市民ギャラリー】

日時.. 12月8日～13日

住所.. 北九州市八幡西区黒崎

3-15-3コムシティ3階

TEL 093-64415206

※入賞・佳作作品一覧や、展示会場の開館時間等の詳細は、ふくおか県民文化祭ホームページをご覧ください。

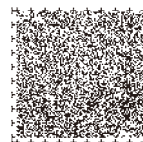
(<http://www.kenbunsai-fukuoka.jp/topics/detail/45>)

☆審査員による選後感（一部抜粋）

【絵画】 出品作品の傾向を俯瞰しますと、具象や構想、抽象表現など、また、水彩、アクリル、油彩画から版画、コラージュ作品にいたるまで、テーマや表現形式、材料などが幅広く、色々な作品が出品されていて、今日の社会の多様性を反映した表現になっていると思います。多くの作品からは造形的な美しさだけでなく、創作の喜びや熱意が伝わってくる表現が多く、観る人たちに大きな感動を与えていると思います。

【書道】 小・中学生の部、一般の部共に、本格的な作品、チャレンジ性のある作品、心の中の漲りをぶつけた作品、力いっぱい筆を進めた作品など、どの作品においても独自の世界観や感覚が「書」に入り込んでいのが垣間見えました。

【写真】 一般の部の作品は、創造性豊かな作品が多くありました。小・中学生の部では、発想のユニークさが際立っていました。これからも気軽に写真



を撮り、表現する喜びを通し、生涯の友として写真活動を続けて頂きたいと思います。

【問い合わせ先】

ふくおか県民文化祭福岡県実行委員会事務局

TEL 092-643-3383

FAX 092-643-3347

12月3日から9日は『障害者週間』です

毎年12月3日から12月9日までの1週間は障害者基本法で定められた「障害者週間」です。国民の皆さんに、広く障がい福祉への関心と理解を深めていただくとともに、障がいのある人が社会、経済、文化その他あらゆる分野の活動に積極的に参加する意欲を高めるための取り組みが全国で行われます。

福岡県では、博多駅での啓発活動のほか、県庁1階ロビーや県議会棟、各総合庁舎において、まごころ製品の販売会を行います。

また、県内市町村においても、各

種イベント等開催されますので、ぜひ、この機会に「障がい」について、理解を深めてみてはいかがでしょうか。うか。

■博多駅博多口での啓発活動

11月30日(月)から12月9日(水)

午前11時から午後3時まで

※2時間程度

■まごころ製品販売会

①県庁1階ロビー

12月7日(月)から11日(金)

午前11時から午後2時まで

②各総合庁舎

12月3日(木)から9日(水)

午前11時から午後2時まで

③県議会棟

12月1日(火)

午前10時から午後2時まで

■県内市町村の取組み

県ホームページ(QRコード)をご覧ください。



福岡県
ホームページ

ご存じですか？

『障がい者差別解消専門相談』と『障がい者110番』

県障がい福祉課内に障がい者差別解消専門相談員を配置し、障がいを理由とする差別や合理的配慮の提供に関する相談を受け付けています。

《障がい者差別解消専門相談》

■専用電話

092-643-3143

※FAX

092-643-3304

※メール

shogai@prefukuoka.lg.jp

■相談受付日時

月曜から金曜の午前9時から午後5時まで

※県の閉庁日はお休みです。

者福祉協会に設置しています。

《障がい者110番》

■電話・FAX

092-584-6110

■相談受付日時

①一般相談

月曜から金曜の午前9時から午後5時まで

②専門相談(法律相談)

第2・第4水曜の午後1時から午後3時まで

③専門相談(年金相談)

第1・第3金曜の午後1時から午後3時まで

『活用ぐだわー！』
『障がいのある人への
合理的配慮ガイドブック』



福岡県では、事業所の皆さんが、接客や受付などの場面で具体的などのような配慮をしたらよいのか、主な事例について、

イラストを用いて分かりやすくコンパクトに解説したガイドブックを作成しています。

このガイドブックは、県のホームページ（QRコード）から誰でも自由にダウンロードして御利用いただけます。従業員研修や、障がいのある人の受入のためのソフト面、ハード面の環境整備の検討に御活用ください。

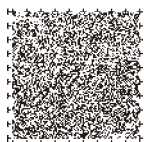


福岡県
ホームページ

ご覧ください

『ふかぼりっ！福岡県』

ふくおかインターネットテレビにおいて、『障がいのある人への合理的配慮』について紹介しています。県内大学生が、障がい者疑似体験などを通して、合理的配慮とはどういったものなのかについてふかぼりしています。



ふくおか
インターネットテレビ

※『ふかぼりっ！福岡県』概要

県の動画配信サイト「ふくおかインターネットテレビ」において、主に若い人に福岡県の情報を深く掘り下げて伝えることをコンセプトにした番組です。

お知らせ

開催します！

『ファーマーズ・マルシェ
（農福連携マルシェ）』

昨今、全国的に、農業と福祉の連携「農福連携」が注目されています。これは、農業従事者の減少や耕作放棄地の増加などの課題に対して、障がいのある人が農業に携わることで補うとともに、障がいのある人にとっては、就業機会の確保や収入の増加につながるものです。

の確保や収入の増加につながるものです。

福岡県では、障がいのある人が農業分野で就労する「農福連携」について、広く県民の皆様に知っていただけるよう、「まごころ製品」の中から、主に農産物や農産加工品を販売する「ファーマーズ・マルシェ（農福連携マルシェ）」を開催しています。今年度は、12月6日（日）にJR小倉駅JAM広場で、3月に福岡市内（場所未定）で開催します。

「まごころ製品」の販売はもちろん、楽しいイベントも目白押しです。ぜひご来場ください。

福岡県医療的ケア児支援人材
育成研修事業のご案内

福岡県では、障がい福祉サービス事業所等の介護職員等が、医療的ケア児を対象とした喀痰吸引等研修（3号研修）を受講する際の費用の一部を助成しています。

障がい福祉サービス事業所等を運営する事業者の皆様におかれま

しては、喀痰吸引等を必要とする医療的ケア児へのサービス提供が適切に行われるよう、当補助制度を御活用ください。

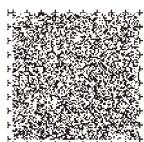
※詳細については、県ホームページ「福岡県医療的ケア児支援人材育成研修費補助金のご案内」（QRコード）をご覧ください。

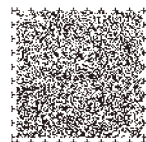
【問い合わせ先】

福岡県障がい福祉課自立支援係
TEL 092-643-3263
FAX 092-643-3304



福岡県
ホームページ





福岡県発達障がい児等療育支援事業（医療連携型）について

福岡県では、増加する発達障がいへの対応を強化するため、発達障がい児（者）に対し、医学的知見に基づく療育支援を行う福岡県発達障がい児等療育支援事業所（医療連携型）を設置しています。
※相談費用は無料です。

【設置場所】

- ・県南部地区
聖ルチア病院
久留米市津福本町1012
- ・県北部地区
香椎療養所
福岡市東区香椎1丁目9-15
- 行橋記念病院
行橋市北泉3丁目11-1

【利用対象者】

福岡県内（政令市・中核市を除く）に在住する発達障がい児（者）

（その疑いがあるものを含む）及びその保護者。

【連絡先】

聖ルチア病院 地域医療連携室
TEL 0942-33-1581
香椎療養所 連携室
TEL 092-661-1083
行橋記念病院 地域医療連携室
TEL 0930-25-2000
※詳細については、県のホームページ「障がいのある児童等に対する療育支援について」（QRコード）をご覧ください。



福岡県
ホームページ

福岡アスリート応援企業 支援事業

福岡県では、障がいの有無に関わらず、県内で競技を継続しながら、就職を希望するトップアスリートと、県内に事業所を有し、アスリートの雇用を希望している企業をマッチングする事業を行っております。

令和2年10月17日に開催した企業とアスリートのマッチングイベントの様子をホームページに掲載しています。

ご不明点ございましたら、お気軽にご連絡下さい。

【連絡先】

福岡県スポーツ振興課
TEL 092-643-3515
※詳細についてはQRコード（福岡県ホームページ）をご覧ください。



福岡県
ホームページ

パラスポーツ用具の貸出

福岡県では、県有施設において、無料でパラスポーツ用具の貸出を行っております。

【パラスポーツ用具貸出場所】

アクシオン福岡、クローバープラザ、名島運動公園・春日公園・久留米総合スポーツセンター・筑後広域公園、筑豊緑地の各テニス場

※詳細についてはQRコード（福岡県ホームページ）をご覧ください。



福岡県
ホームページ

